



学校教育目標 主体的に考えて行動するー自律・創造・尊重ー

# 加古中 TIMES

笑顔あふれる学校 KAKOGAWA

Knowledge(知識・経験からの情報)  
Action(行動・活動)  
Kindness(親切・思いやり)  
Open-minded(広い心・偏見のなさ)  
Growth(成長・発展)  
Appreciation(感謝・正しい評価)  
Wellness(心身の健康・生活のバランス)  
Answer(答えを見出す)

## Hello! Nyasha 先生との新しい出会いから広がる世界

本校の英語教育に、4月から心強いパートナーが加わりました。新しく着任されたALT(外国語指導助手)のNyasha先生による授業がよいよスタートしています。

初めての授業では、生徒たちが「どんな先生だろう?」と少し緊張した面持ちで待つ中、授業がスタートすると、一気に明るい雰囲気になりました。

初めての授業では、Nyasha先生の出身地であるジンバブエの国の様子、文化や食べ物、趣味等について、たくさんの写真やクイズを交えながら紹介してもらいました。教科書の文字や英文だけではなく、現地のリアルな生活や価値観に触れることで、生徒たちの瞳は好奇心で輝いていました。



「自分の英語が通じた!」「もっと詳しく聞いてみたい」——そんな小さな成功体験の積み重ねこそが、語学学習において最も大切な原動力となります。Nyasha先生とのやり取りは、単なる暗記や知識の伝達だけではなく、相手を知り、自分を伝えるための「道具」としての英語を学ぶ貴重な機会です。また、英語教育においては、文法や語彙の習得はもちろんのこと、それらを使って実際にコミュニケーションを図る力が重視されています。英語のティーム・ティーチング(TT)の時間には、以下の3点について、特に意識しながら楽しんで授業を進めてください。



- ①「聞く力」ネイティブスピーカー特有のリズムや発音に慣れる。
- ②「話す力」間違いを恐れず、身振り手振りを交えて伝えようとする姿勢を養う。
- ③「国際理解」異文化を尊重し、多様な価値観を受け入れる広い視野を持つ。

休み時間や放課後もコミュニケーション能力を高めることができます。授業中だけでなく、休み時間や給食の時間、掃除の時間なども、先生と生徒が交流できる絶好のチャンスです。廊下ですれ違った時に「Hello!」と声をかける勇気が、世界への第一歩となりますよ。

保護者の皆様も、ぜひご家庭で「今日の英語の授業はどうだった?」「先生はどんな人だった?」と話題にしてみてください。生徒たちが学校で感じたワクワクを言葉にすることで、学習への意欲はさらに高まります。「生きた英語」を肌で感じる体験を重ねて、視界を広げよう。

私たちの演奏を、ぜひ聞いてください!



先日、校長室を吹奏楽部のメンバーが、5月6日(水)に実施されるスプリングコンサートの案内のために訪問してくれました。

当日は氷丘中学校と合同で演奏するとのことでした。興味がある人は、ぜひ演奏を聞いてみてはどうでしょうか。

スプリングコンサート2026  
日時:5月6日(水) 15:00~  
※13:30 開場(14:00~北高)  
会場:SHOWA グループ市民会館